

防衛大における「指導」の実態

(注)防大に蔓延している主な指導例であり、全てが原告の被害実態に当てはまるものではない

「指 導」	内 容
粗相ポイント制	学生舎の居室が同じ1学年に対し、粗相があった場合に先輩がポイントを加算する制度。このポイント清算をするため理不尽な行為を強要される。 学生は行為自体を遊びと捉えることにより自分自身を守る自己欺瞞に陥る 例：食いシバキ、ファイヤー、地雷風俗での性行為撮影、毛剃り、一発芸
指令外出	先輩の考えた指令を遂行するための外出。 例：風俗店(ホモ含)での性行為。一般女性のアドレス確保100名、ナンパ。遠距離移動させ時間内に帰寮、お土産持参。時間制限付き都内食べ歩き
食いシバキ	限界がきても食べさせる、本来食べれない物も食べさせる行為 例：乾いたカップ麺数個を時間制限付き。食事の異常な盛り。カルピス原液、七味唐辛子、ラー油等の一気飲み。就寝後の鍋等の残飯。食事に異物(靴墨等)を混入。賞味期限切れ1年経過等をシバキの為保管。飲食店のはしご。ジャム20個。体作りや先輩への気遣いを掲げ完食が必須
反省文提出	出来ていない事、失敗した事の「自己分析、改善策」の目的は建前であり、実際は時間を奪う事、精神的に追い詰める事が目的である 例：原稿用紙100枚。無限提出。ノート一冊分の「ごめんなさい」や「小学1年生の漢字書き取り」。自分を卑下し、無能さを書き連ねる。
名札縫い	固い生地 of 制服に名札を1mm間隔で真っ直ぐにかがり縫いする。時間を奪う どんなに綺麗にできていても難癖をつけ破り取られる。上級生になると両面テープなどで止めている。作業は消灯後が多く、1年は毛布をかぶり携帯の灯りの元で縫う為、針が無くなり怪我をする学生多数。
必携の書写	学生必携約250ページ分の書写を期限付きで提出 試験前、休み前よく発令
空気椅子	両手は前方、地面水平に上げたまま、両ひざを折り、あたかも椅子があるような姿勢を保つ。通常10~20分 震え出すと罵倒が飛び、蹴り等が入る
ハイパー腕立て伏せ	腕立ての回数に終わりが無い。小数点まで入れて数えだす
ヘルウィーク	事故(サービス違反)等を起こすと集中的に指導が増し、地獄を味わう 1週間から1か月、また辞めるまで、死ぬまで続く 違反・事故の落とし前
飛ばし・台風(タイフーン)	週番等が整理不備を理由に再度整理させる為、台風が通り過ぎたように机やベッド、タンスが荒らすこと。ベッドメイキングは「シーツに5円玉を落として跳ね返る」などが基本も先輩は電気毛布を使用して規定も曖昧。整理不備に関係なく嫌がらせ目的。時期も恒例化されているがロックオン(目を付ける)されると時節に関係なく執拗にやられる。私物も触られ紛失多し
外禁(外出禁止)	平日は学校の門内のみの生活であり、外禁になると休日もずっと学校内での生活を強いられ、奉仕活動を責務とされる。ストレスが極度に溜まる
入室要領	よその部屋の入室時にする一連の動作。ノックの回数から始まり、目線、声、動作等理不尽に何度もやり直しを命じられる。自室に戻り、自室からのやり直しも度々命じられるため、一度入室する為に多大な体力と時間を有する
部屋解雇	自室でなくなる事。自分の部屋に入室する時も「入室要領」が必須となる手間も掛かるが、作業が進まなくなり自室でのことであり精神的にやられる

清掃解雇	朝、晩の清掃作業が1年の日課であるが、解雇させられた者だけ何もさせてもらえず、横で直立のみ。その分同期の負担が増す。ワザと掃除要領を厳しくして同期の反感を買い、孤立させる。清掃を懇願するために発令した先輩の部屋へ何度も赴き、その都度「入室要領」でも指導を受ける
呼び出し *無限呼び出し	注意を受ける際いちいちその先輩の部屋へ赴き「入室要領」の洗礼を長々と受け、本題に入るパターン。校外の行動も対象となる為、休日も気を抜けない(1年のみ校外でも制服着用の為、制限が厳しい) 「呼び出しの為の呼び出し」など先輩学生のストレスのはげ口とされ、1つの注意に延々と呼び出される「無限呼び出し」なども存在する
消灯後の呼び出し	22:30消灯後よその部屋の呼び出しを受ける。複数の先輩からの呼び出しが溜まることもよくあり、精神的に追い込まれる。その後の課業などがない為、酷いときは「朝まで」「退校届を出すまで」自室に帰してもらえない。 睡眠時間が削られ、課業にも支障をきたす
物品・テンキーの取り上げ	現金、身分証など保管しているテンキーの使用が不可とされることにより必要なものが取り出せなくなり、困惑し精神的にも追い込まれる。
卒リン (卒業生へのランチ・お礼参り)	卒業式前夜、卒業生に恨みのある在校生が仕返し(ランチ)をすること。 手段としては、やられた卒業生が恥ずかしくて公にできないようなものに人気があった。寝ている卒業生をベッドに縛り付けての行為など 例: H26.3 卒ランチの防衛の為枕の下に隠し持っていたアイスピックで在校生を刺し、重傷を負わせた傷害事件発生。毎年の卒業式前夜は教官たちがピリピリしている
勤労感謝の日	普段、清掃等をしている一年生に感謝をし、この日は上級生が作業を交代する。しかし、廊下を泡だらけにしたり、トイレを汚したりして後で手間が掛かる様にされる。また、異物混入した飲み物を出され、無理やり飲まされる。異常なマッサージを受ける 等
指 令	(セクハラ行為) 性器に冷感スプレーを掛ける、掃除機を当てる、触る、触らせる 全裸での腕立て伏せや写真撮影、ファイヤーなどをSNSに投稿 お尻に異物混入、薬品塗布 *うめき声が深夜に聞こえる恐怖を味わう (パワハラ行為)パンツ1枚での行進練習 携帯の破損 積雪時の指令外出 1年に他先輩に対し暴力を振るわせ、反撃されているのを見て楽しむ 他
暴 行	殴る、蹴る、エアガン(教官許可)髪を切る。ゴミ箱に頭を突っ込む 複数で一人を囲み威圧的に行う。短靴を投げつける。熱湯を霧吹きでかける バットで叩く。トンカチで叩く。ポットから直接熱湯を口に入れる
暴 言	「死ね」「辞めてくれ」「屑」などの人格否定 被害者家族に対する侮辱発言

*アンケート調査・・・「冗談では済まされないものもあった」 「社会人として犯罪に該当する」

「防衛大なら殴られることは当然あることなのに認識していない方が悪い」

上級生になる程

「やってはいけない事としてリストに上がってない。処分の対象となっていない」

「許される行為」

「ミスをした者には制裁が必要」 「防大だから許される」

と捉えている

「良い思い出となる」 「上級生の単なる悪ふざけ・ストレス発散」

「自分もしないと弱い人間だと思われるのが嫌だったから加担」

「このような指導を抜きにして自衛隊でやっていけるのか? 幹校、部隊でもある」